

夏休みの思い出を発表しよう。

1 単元名

第六学年 外国語科 Junior Sunshine 6 Lesson 6

2 単元の目標

夏休みの思い出を紹介する言い方を理解することができる。

夏休みの思い出を発表することができる。また、夏休みの思い出の文の内容を理解することができる。

他者に配慮しながら、夏休みの思い出を発表しようとする。

3 評価の観点

- ・ 例文をもとに夏休みの思い出を読んだり書いたりすることができる。【読むこと・書くこと】
- ・ 夏休みの思い出を伝え合ったり、分かりやすく発表したりしようとしている。【話すこと】

4 ICT 活用の狙い

イラストや写真をつけて夏休みの思い出のスライドを作成することで、「書きたい」「伝えたい」という意欲を高めたり、発表をする際に聞く相手に発表者の思い出のイメージを持たせやすくする。

5 授業の実際

児童はワークシートに英文を書く時のルールを学習したあとで、英文を入力する時のルールも習得した。(初めの文字が大文字であるのは書くときと同じ、単語と単語の間は1スペースあける、など)自分だけのスライドを作ること、鉛筆で書くときよりもワクワクした様子が見られた。どの写真やイラストを使うと相手に伝わりやすいか、相手意識を持った学習ができていた。

6 活用の効果

発表をする際に、児童のスライドを電子黒板に映し出すことができることから、発表を聞く児童が文字やイラストをたよりにして発表者の思い出をよりイメージしやすくなったようだ。これまでは、児童が書いたワークシートを書画カメラに映し出していたが、スライドを連続することで、時間の短縮化が図れた。

I went to Iki.
I enjoyed swimming with dolphins.
It was exciting.



7 実践上の課題

タブレットにまだ不慣れだったので、文字を打ったり、画像を挿入するのに少し時間がかかった。また、数人のグループで同じファイルを使っていたために、間違っって他の児童のスライドに打ち込んでしまったり、誤って他の児童が打ち込んだ文字を消してしまったりすることもあった。児童がタブレットでの作業に慣れることで、こうした問題も解消すると思われる。

☆番外編

「クイズ感覚で単元の復習をしよう。」クイズアプリで過去形の使い方、単語の確認を楽しく復習できて、クラスで大変盛り上がりました！

